

平成29年1月12日
第12回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会 資料

新規指定推薦の医療機関について

【各施設のマークについて】

- 「◎」は都道府県がん診療連携拠点病院として推薦
- 「○」は空白の2次医療圏からの推薦または地域がん診療病院を拠点病院として推薦
- 「△」は既に1箇所以上の拠点病院が指定されている2次医療圏からの推薦
- 「#」は特定領域がん診療連携拠点病院として推薦
- 「◆」は地域がん診療病院として推薦

【新規指定推薦状況】

10 都道府県 計 13 医療機関 (◎ 1 △ 5 # 1 ◆ 6)

北海道 現在、21 医療圏に対し 20 拠点病院

- ◆ 小樽市立病院 (後志保健医療圏)
- ◆ 北海道中央労災病院 (南空知保健医療圏)

宮城県 現在、4 医療圏に対し 7 拠点病院

- # 仙台厚生病院 (特定領域；肺がん) (仙台保健医療圏)

茨城県 現在、9 医療圏に対し 10 拠点病院

- ◆ 医療法人社団善仁会 小山記念病院 (鹿行保健医療圏)

埼玉県 現在、10 医療圏に対し 13 拠点病院

- △ 医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 (県央保健医療圏)

千葉県 現在、10 医療圏に対し 13 拠点病院

- ◎ 千葉県がんセンター (千葉保健医療圏)

東京都 現在、13 医療圏に対し 25 拠点病院、1 地域がん診療病院

- △ 社会福祉法人 三井記念病院 (区中央部保健医療圏)
- △ 東京都立墨東病院 (区東部保健医療圏)
- △ 国立国際医療研究センター病院 (区西部保健医療圏)

新潟県 現在、7 医療圏に対し 8 拠点病院

◆ 新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡総合病院 (佐渡保健医療圏)

奈良県 現在、5 医療圏に対し 5 拠点病院

◆ 南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター病院 (南和保健医療圏)

長崎県 現在、8 医療圏に対し 6 拠点病院

△ 独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 (県央保健医療圏)

沖縄県 現在、5 医療圏に対し 3 拠点病院、2 地域がん診療病院

◆ 北部地区医師会病院 (北部保健医療圏)

平成28年度 都道府県・2次医療圏別の指定状況【抜粋】

平成29年1月12日現在

【現行の指定状況】
 ★都道府県がん診療連携拠点病院
 ●地域がん診療病院(グループ指定先医療機関)
 がん診療連携拠点病院数 395
 特定領域がん診療連携拠点病院数 1
 地域がん診療病院数 28

都道府県	2次医療圏(344)	医療圏の人口	がん診療連携拠点病院等	【指針】Ⅱ2(1)診療実績 ①または②を概ね満たすこと。 これまでの検討会で、「概ね」は基準の9割とされた。緑セル・青セルは9割未満。 ※地域がん診療病院は診療実績の基準なし。				診療実績② 基準以下は青セル	推薦状況	
				院内がん登録数(基準:500件)	悪性腫瘍の手術件数(基準:400件)	がんに係る化学療法への患者数(基準:1000人)	放射線治療への患者数(基準:200人)			当該2次医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合(基準:20%)
北海道 医療圏数 21 拠点病院 20	道南	南渡島(みなみおしま)	387,315	市立函館病院 社会福祉法人函館厚生連 函館五稜郭病院	1,157	552	1,529	430	25	現況報告
		南檜山(みなみひやま)	24,544		1,631	915	1,244	507	33	現況報告
		北渡島檜山(きたおしまひやま)	37,689							
	道央	札幌	2,365,114	★独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	1,729	1,391	7,176	1,160	9	現況報告
				市立札幌病院	1,268	1,374	3,227	463	6	現況報告
				JA北海道厚生連 札幌厚生病院	1,352	1,015	3,885	304	7	現況報告
				社会医療法人 恵佑会札幌病院	1,467	1,283	4,403	655	7	現況報告
				KKR札幌医療センター	1,154	443	3,846	440	3	現況報告
				医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院	2,104	983	1,302	333	5	現況報告
				国立大学法人 北海道大学病院	1,988	1,377	1,258	1,134	8	現況報告
				札幌医科大学附属病院	2,327	1,493	1,706	827	9	現況報告
				◆小樽市立病院(独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター)	335	336	281	154	15	新規指定
		◆独立行政法人労働者健康安全機構北海道中央労災病院(独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター)	187	114	590	未実施	14	新規指定		
	後志(しりべし)	218,687								
	南空知(みなみそらち)	167,311								
	中空知(なかそらち)	109,642	砂川市立病院	600	276	1,632	148	38	現況報告	
	北空知(きたそらち)	32,891								
	西胆振(にししいぶり)	190,548	社会医療法人 母恋 日鋼記念病院	524	335	582	271	29	現況報告	
	東胆振(ひがしいぶり)	213,658	医療法人 王子総合病院	1,064	731	1,101	289	44	現況報告	
	日高	70,227								
	道北	上川中部(かみかわちゅうぶ)	400,541	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	1,492	1,366	1,190	263	31	現況報告
市立旭川病院				905	940	2,389	269	18	現況報告	
旭川医科大学病院				1,429	1,643	7,597	368	32	現況報告	
上川北部		66,312								
富良野		43,131								
留萌(るもい)		48,696								
宗谷		67,327								
オホーツク		北網(ほくもう)	221,409	北見赤十字病院	1,499	676	1,301	511	52	現況報告
遠紋(えんもん)		71,850								
十勝		346,566	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	1,685	969	1,270	399	32	現況報告	
釧路・根室	釧路	239,476	市立釧路総合病院	1,107	764	2,978	308	41	現況報告	
			独立行政法人労働者健康福祉機構 釧路労災病院	956	608	1,172	275	36	現況報告	
根室	78,275									
宮城県 医療圏数 4 拠点病院 7	仙南(せんなん)		175,693	みやぎ県南中核病院	413	218	537	128	58	現況報告
	仙台	1,531,825	★宮城県立がんセンター	1,862	1,138	1,498	718	11	現況報告	
			★東北大学病院	3,345	1,972	4,040	1,053	15	現況報告	
			独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター	1,480	1,142	1,968	597	10	現況報告	
			独立行政法人労働者健康福祉機構 東北労災病院	881	419	830	208	8	現況報告	
	#一般財団法人厚生会 仙台厚生病院(特定領域:肺がん)	1,383	1,057	1,096	213	10	新規指定			
大崎・栗原	273,282	大崎市民病院	1,450	860	1,759	413	47	現況報告		
石巻・登米(とめ)・気仙沼	349,548	石巻赤十字病院	1,867	1,201	1,299	329	52	現況報告		
茨城県 医療圏数 9 拠点病院 10	水戸	466,798	★茨城県立中央病院	1,678	1,107	1,519	560	49	現況報告	
			独立行政法人国立病院機構水戸医療センター	1,157	679	1,277	290	42	現況報告	
	日立	256,174	株式会社 日立製作所日立総合病院	1,404	866	1,463	345	93	現況報告	
	常陸太田・ひたちなか	358,904	株式会社 日立製作所ひたちなか総合病院	714	430	1,183	219	35	現況報告	
	鹿行(ろっこう)	273,891	◆医療法人社団善仁会小山記念病院(独立行政法人水戸医療センター、茨城県立中央病院)	265	120	88	未実施	43	新規指定	
	土浦	257,464	総合病院 土浦協同病院	1,711	1,114	1,389	450	73	現況報告	
	つくば	340,666	公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院	1,455	575	752	497	40	現況報告	
	国立大学法人 筑波大学附属病院	2,980	1,404	3,513	1,168	57	現況報告			
	取手・竜ヶ崎(りゅうがさき)	464,426	東京医科大学茨城医療センター	810	687	1,804	308	25	現況報告	
	筑西(ちくせい)・下妻(しもつま)	262,448								
古河(こが)・坂東	227,353	友愛記念病院	674	498	447	178	39	現況報告		
		茨城県厚生農業協同組合連合会茨城西南医療センター病院	620	202	289	117	31	現況報告		

都道府県	2次医療圏(344)	医療圏の人口	がん診療連携拠点病院等	院内がん登録数 (基準:500件)	悪性腫瘍の手術件数(基準:400件)	がんに係る化学療法への患者数 (基準:1000人)	放射線治療への患者数(基準:200人)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合 (基準:20%)	推薦状況
埼玉県 医療圏数 10 拠点病院 13	東部	1,145,290	春日部市立医療センター	736	414	910	298	10	現況報告
			獨協医科大学越谷病院	1,736	1,235	1,954	360	26	現況報告
	さいたま	1,274,921	さいたま赤十字病院	1,473	952	1,010	353	8	現況報告
			さいたま市立病院	1,096	560	1,168	203	12	現況報告
			自治医科大学附属さいたま医療センター	2,507	1,002	2,361	352	18	現況報告
	県央	528,619	★埼玉県立がんセンター	3,907	2,646	25,062	1,462	91	現況報告
			△医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院	1,191	1,127	1,045	338	34	新規指定
	南部	792,021	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	911	504	500	118	24	現況報告
			川口市立医療センター	1,117	544	1,020	342	33	現況報告
	川越比企(ひき)	799,404	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	729	438	1,350	237	26	現況報告
			埼玉医科大学総合医療センター	2,661	1,281	1,740	746	13	現況報告
	南西部	714,239	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	1,152	666	1,135	396	19	現況報告
	西部	773,196	埼玉医科大学国際医療センター	4,729	2,321	2,538	1,270	23	現況報告
秩父	100,282								
北部	507,959	深谷赤十字病院	652	452	2,642	193	21	現況報告	
利根	645,525								
千葉県 医療圏数 9 拠点病院 12 地域がん診療病院 1	千葉	973,973	◎千葉県がんセンター	3,076	2,153	3,258	738	18	新規指定
			千葉大学医学部附属病院	3,592	1,259	3,213	714	24	現況報告
	山武長生夷隅(さんむちょうせいすみ)	430,074	独立行政法人国立病院機構 千葉医療センター	1,154	969	1,746	183	14	現況報告
			●さんむ医療センター(総合病院国保旭中央病院)	159	65	542	未実施	27	現況報告
	東葛南部	1,753,025	船橋市立医療センター	1,649	1,174	1,241	374	17	現況報告
			東京歯科大学市川総合病院	1,454	792	1,411	264	11	現況報告
	東葛北部	1,366,484	学校法人 順天堂 順天堂大学医学部附属浦安病院	1,447	959	1,049	542	11	現況報告
			東京慈恵会医科大学附属 柏病院	1,694	1,646	1,742	455	11	現況報告
	印旛(いんぱ)	712,252	国保松戸市立病院	820	447	3,902	352	5	現況報告
	香取海匝(かとりかいそう)	277,367	学校法人日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院	1,156	758	1,132	224	19	現況報告
	安房(あわ)	127,035	総合病院国保旭中央病院	1,968	1,594	1,811	488	48	現況報告
	君津	326,424	亀田総合病院	2,391	2,351	7,122	746	49	現況報告
	市原	273,783	国保直営総合病院 君津中央病院	1,104	539	702	208	68	現況報告
独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院			1,180	718	2,104	196	37	現況報告	
東京都 医療圏数 13 拠点病院 25 地域がん診療病院 1	区中央部	877,629	★東京都立駒込病院	3,507	2,045	4,215	2,039	6	現況報告
			東京大学医学部附属病院	2,647	2,483	3,550	1,029	8	現況報告
			日本医科大学付属病院	2,312	2,715	10,450	562	7	現況報告
			聖路加国際病院	2,082	1,864	1,704	726	4	現況報告
			順天堂大学医学部附属 順天堂医院	3,225	2,758	11,938	775	4	現況報告
			東京慈恵会医科大学附属病院	2,654	1,770	2,148	970	6	現況報告
			虎の門病院	2,748	1,501	4,477	519	6	現況報告
			東京医科歯科大学医学部附属病院	2,087	2,184	1,853	836	3	現況報告
			△社会福祉法人三井記念病院	1,159	926	1,703	360	8	新規指定
			区東北部	1,334,555	●東京女子医科大学東医療センター(東京都立駒込病院)	934	984	1,022	未実施
	区東部	1,447,948	★公益財団法人がん研究会有明病院	6,277	5,806	7,506	1,872	1	現況報告
			△東京都立墨東病院	1,228	1,038	1,122	245	13	新規指定
	区南部	1,114,372	NTT東日本関東病院	1,774	1,386	3,480	521	10	現況報告
			昭和大学病院	2,128	1,488	3,504	775	12	現況報告
	区西南部	1,418,038	東邦大学医療センター大森病院	1,943	1,809	5,245	514	19	現況報告
			日本赤十字社医療センター	1,286	1,096	2,528	1,005	5	現況報告
	区西部	1,241,365	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	1,876	1,201	1,747	1,010	14	現況報告
			慶應義塾大学病院	2,566	2,236	4,570	852	5	現況報告
	区西北部	1,934,692	東京医科大学病院	2,952	2,080	5,782	916	13	現況報告
			△国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院	1,164	674	1,888	383	9	新規指定
	西多摩	389,647	日本大学医学部附属板橋病院	1,688	1,206	4,015	517	11	現況報告
	南多摩	1,433,958	帝京大学医学部附属病院	1,752	1,360	2,508	564	11	現況報告
	北多摩西部	641,907	青梅市立総合病院	1,002	512	894	205	38	現況報告
東京医科大学八王子医療センター			1,176	1,734	1,064	194	17	現況報告	
北多摩南部	1,032,197	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	907	483	1,316	223	9	現況報告	
		日本赤十字社東京都支部 武蔵野赤十字病院	1,896	1,446	3,256	447	10	現況報告	
北多摩北部	733,536	杏林大学医学部付属病院	2,365	1,745	5,954	1,687	12	現況報告	
		東京都立多摩総合医療センター	2,209	1,273	8,223	807	16	現況報告	
島しょ	26,137	公立昭和病院	1,371	946	1,493	265	18	現況報告	

都道府県	2次医療圏(344)	医療圏の人口	がん診療連携拠点病院等	院内がん登録数 (基準:500件)	悪性腫瘍の手術件数(基準:400件)	がんに係る化学療法への患者数 (基準:1000人)	放射線治療への患者数(基準:200人)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療実績の割合 (基準:20%)	推薦状況
新潟県 医療圏数 7 拠点病院 8	下越	209,615	新潟県立新発田病院(しばたびょういん)	1,232	760	782	218	55	現況報告
	佐渡	56,265	◆新潟県厚生農業協同組合連合会佐渡総合病院(新潟大学医歯学総合病院、新潟県立がんセンター新潟病院)	0	225	476	67	67	新規指定
	新潟	912,937	★新潟県立がんセンター新潟病院	3,000	2,540	8,455	1,111	38	現況報告
			新潟市民病院 新潟大学医歯学総合病院	1,815 2,232	1,639 856	1,373 1,603	222 620	22 5	現況報告 現況報告
	県央	225,363							
	中越	445,333	新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院 長岡赤十字病院	1,685 1,615	1,061 951	4,943 1,474	231 452	36 25	現況報告 現況報告
	魚沼	166,300							
上越	271,982	新潟県立中央病院 独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院	1,410 370	728 241	1,404 363	360 64	44 17	現況報告 現況報告	
奈良県 医療圏数 5 拠点病院 5	奈良(奈良)	360,310	市立奈良病院 奈良県総合医療センター	1,078 1,230	765 707	441 1,248	205 264	22 28	現況報告 現況報告
	東和(とうわ)	209,741	公益財団法人 天理よろづ相談所病院	2,012	1,027	1,793	451	46	現況報告
	南和(なんわ)	72,565	◆南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター病院(奈良県立医科大学附属病院)	187	109	175	未実施	27	新規指定
	西和(せいわ)	345,503	近畿大学医学部奈良病院	1,438	789	1,283	343	32	現況報告
	中和(ちゅうわ)	376,197	★奈良県立医科大学附属病院	2,680	2,276	3,445	885	34	現況報告
長崎県 医療圏数 8 拠点病院 6	長崎	529,672	地方独立行政法人長崎市立病院機構 長崎みなとメディカルセンター市民病院	1,078	736	699	334	15	現況報告
			★国立大学法人長崎大学病院	2,449	1,675	1,045	639	53	現況報告
			日本赤十字社長崎原爆病院	1,022	536	1,111	303	22	現況報告
	五島 上五島(かみごとう)	36,601 21,649							
	佐世保県北	319,185	佐世保市総合医療センター 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	1,898 1,586	968 847	1,839 1,102	503 437	45 45	現況報告 現況報告
	県央	267,304	△独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院	821	653	1,100	213	23	新規指定
	壱岐(いき) 対馬(つしま)	26,489 30,535							
	県南	133,716	長崎県島原病院	583	234	1,269	207	54	現況報告
沖縄県 医療圏数 5 拠点病院 3	北部	101,180	◆北部地区医師会病院(琉球大学医学部附属病院)	198	159	1,725	未実施	31	新規指定
	中部	497,176	沖縄県立中部病院	778	455	2,543	350	21	現況報告
	南部	731,375	地方独立行政法人 那覇市立病院	892	425	1,812	257	13	現況報告
			★琉球大学医学部附属病院	1,507	703	1,951	648	48	現況報告
	宮古	52,231	●沖縄県立宮古病院(沖縄県立中部病院)	212	175	636	未実施	17	現況報告
八重山	53,271	●沖縄県立八重山病院(沖縄県立中部病院)	228	57	674	未実施	-	現況報告	

第12回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

都道府県プレゼンテーション資料等

北海道、宮城県、茨城県、埼玉県、千葉県、
東京都、新潟県、奈良県、長崎県、沖縄県

千葉県

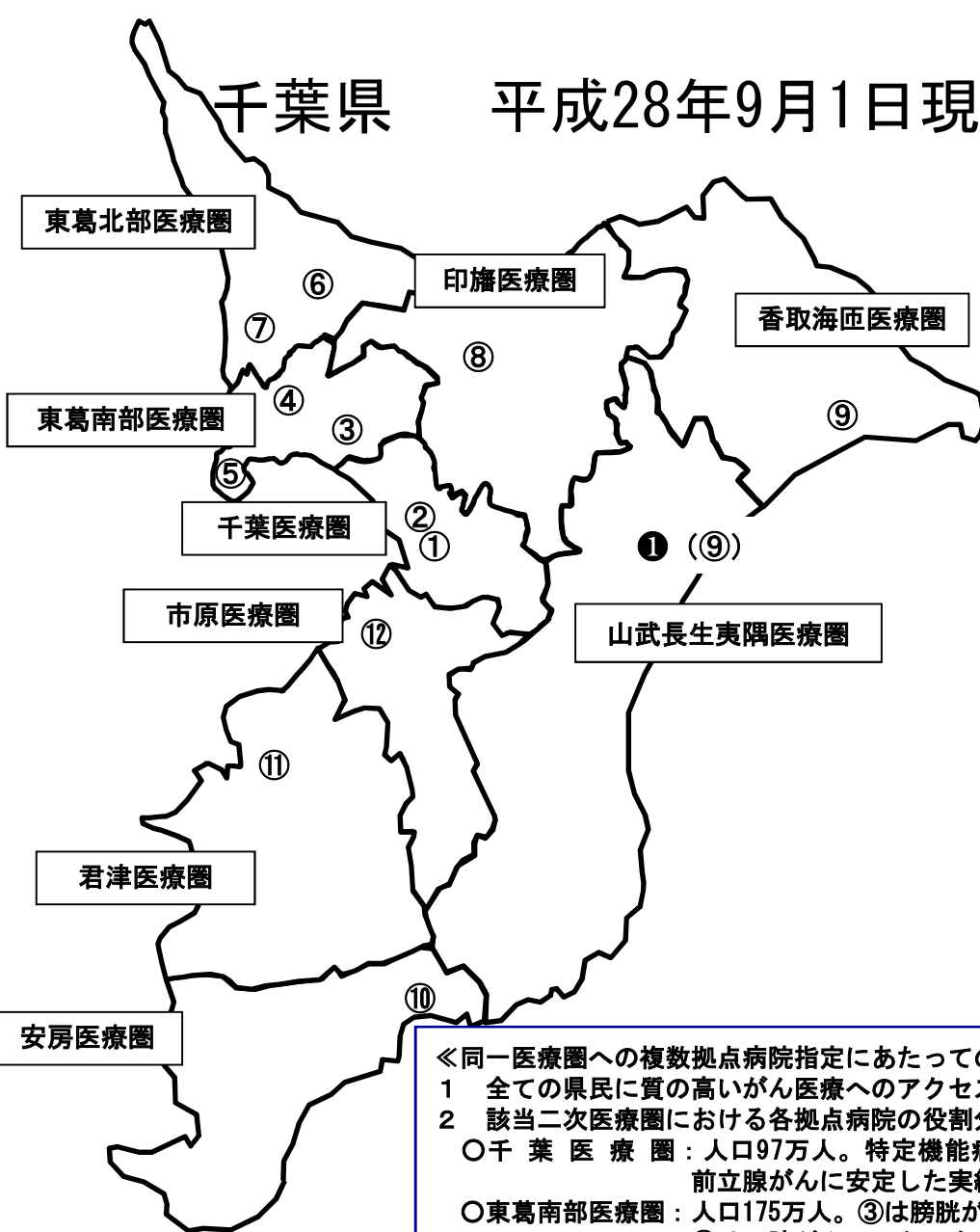
千葉県 2次医療圏の概要

平成28年9月1日現在

2次医療圏名	面積 (km ²)	人口	人口 割合 (%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院			特定領域がん診療連携 拠点病院			地域がん診療病院			
						現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	現況報告 病院数	今回更新 病院数	新規申請 病院数	
千葉	271.76	973,973	15.6	3,583.9	48	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
東葛南部	253.91	1,753,025	28.1	6,904.1	61	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛北部	358.14	1,366,484	21.9	3,815.5	57	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印旛	691.66	712,252	11.4	1,029.8	29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香取海匝	717.46	277,367	4.4	386.6	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山武長生夷隅	1,161.69	430,074	6.9	370.2	23	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
安房	576.62	127,035	2.0	220.3	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
君津	758.21	326,424	5.2	430.5	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市原	368.17	273,787	4.4	743.6	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5157.62	6,240,421	100	1,209.9	286	12	0	1	0	0	0	1	0	0	0

千葉県

平成28年9月1日現在の指定状況と患者受療動向



- ①千葉大学医学部附属病院（平成27年4月1日・現況）
- ②(独)国立病院機構 千葉医療センター（平成27年4月1日・現況）
- ③船橋市立医療センター（平成27年4月1日・現況）
- ④東京歯科大学市川総合病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑤(学)順天堂 順天堂大学医学部附属浦安病院（平成28年4月1日・現況）
- ⑥東京慈恵会医科大学附属 柏病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑦国保松戸市立病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑧(学)日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑨総合病院国保旭中央病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑩亀田総合病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑪国保直営総合病院 君津中央病院（平成27年4月1日・現況）
- ⑫(独)労働者健康安全機構 千葉労災病院（平成28年4月1日・現況）
- ①さんむ医療センター（平成28年4月1日・現況）

※平成27年4月より都道府県拠点病院不在

《同一医療圏への複数拠点病院指定にあたっての過去の申請理由》

- 1 全ての県民に質の高いがん医療へのアクセスを確保するため、一定人口規模（概ね50万人）単位に拠点病院を整備
 - 2 該当二次医療圏における各拠点病院の役割分担に配慮（特に5大がん以外に得意とするがん種等を分担）
- 千葉医療圏：人口97万人。特定機能病院である①はがん医療のための人材育成や希少がん、②は食道がん、前立腺がんに安定した実績がある。
- 東葛南部医療圏：人口175万人。③は膀胱がん、前立腺がんを多く診療、緩和ケア病棟を有し、地域と連携。④は口腔がんセンターを有し、口腔がんや口腔ケアに対応。⑤は乳房、子宮頸がんを多く対応。3病院が連携し合同研修等を実施している。
- 東葛北部医療圏：人口137万人で県外からの患者流入も多い。⑥は白血病等の血液疾患を多く治療。⑦は卵巣がん、子宮がんの婦人科系がん治療に成果を上げている。

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ () 内は平成27年10月末日提出の数値、下段は平成28年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

都道府県 or 地域 or 特定	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録		手術件数（臓器別手術件数は4ヶ月分）											がんに係る化学療法	放射線治療	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター	
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間) 500件以上	悪性腫瘍の手術件数(年間) 400件以上	肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん								乳がん
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ESD+EMR※1	開腹手術	腹腔鏡手術	内視鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ラジオ波焼灼療法						
1	現況	千葉大学病院	(6,618) 7,193	(38.3) 40.6	(3,568) 3,592	(1,260) 1,259	(49) 68	(40) 23	(21) 16	(8) 6	(51) 44	(35) 43	(25) 35	(117) 154	(24) 33	(0) 3	(68) 55	(97) 130	(2,851) 3,213	(681) 714	(19) 24	(10) 7	(990) 1,205
2	現況	千葉医療センター	(2,159) 2,496	(23.0) 26.3	(924) 1,154	(782) 969	(4) 2	(23) 31	(31) 13	(5) 9	(13) 19	(31) 19	(14) 26	(9) 21	(4) 6	(0) 0	(17) 27	(34) 46	(1,443) 1,746	(157) 183	(11) 14	(31) 40	(354) 185
3	現況	船橋医療センター	(2,817) 3,977	(24.4) 34.7	(1,398) 1,649	(1,160) 1,174	(2) 0	(21) 18	(16) 11	(4) 10	(18) 19	(39) 25	(11) 9	(48) 34	(5) 3	(0) 0	(0) 0	(49) 55	(1,330) 1,241	(360) 374	(14) 17	(10) 14	(481) 365
4	現況	市川総合病院	(2,590) 2,447	(20.4) 18.9	(1,283) 1,454	(609) 792	(2) 6	(4) 9	(7) 8	(5) 5	(16) 17	(11) 14	(21) 13	(25) 36	(3) 2	(0) 0	(1) 0	(30) 40	(1,382) 1,411	(319) 264	(11) 11	(17) 13	(208) 295
5	現況	順天堂浦安病院	(3,591) 3,488	(20.2) 19.4	(1,565) 1,447	(972) 959	(1) 0	(11) 22	(2) 3	(28) 20	(11) 21	(0) 1	(37) 44	(2) 7	(2) 1	(1) 1	(15) 8	(49) 41	(1,023) 1,049	(505) 542	(13) 11	(23) 22	(210) 72
6	現況	慈恵大柏病院	(3,509) 3,595	(24.8) 25.7	(1,755) 1,694	(1,613) 1,646	(4) 5	(16) 22	(14) 11	(9) 8	(18) 20	(22) 188	(10) 13	(115) 114	(4) 7	(0) 1	(4) 3	(41) 44	(2,130) 1,742	(429) 455	(12) 11	(11) 6	(234) 195
7	現況	松戸市立病院	(1,817) 1,439	(15.4) 12.2	(734) 820	(464) 447	(5) 0	(1) 11	(15) 6	(4) 6	(11) 19	(19) 4	(11) 24	(110) 6	(2) 2	(1) 0	(12) 7	(14) 6	(4,745) 3,902	(351) 352	(8) 5	(2) 4	(586) 113

がん診療連携拠点病院及び特定領域がん診療連携拠点病院

- ・ () 内は平成27年10月末日提出の数値、下段は平成28年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと
- ・ 1枚につき11病院を超える場合には、複数枚にわたって表を作成してください。
- ・ ※1については、ESD+EMRの合計数を記載すること。

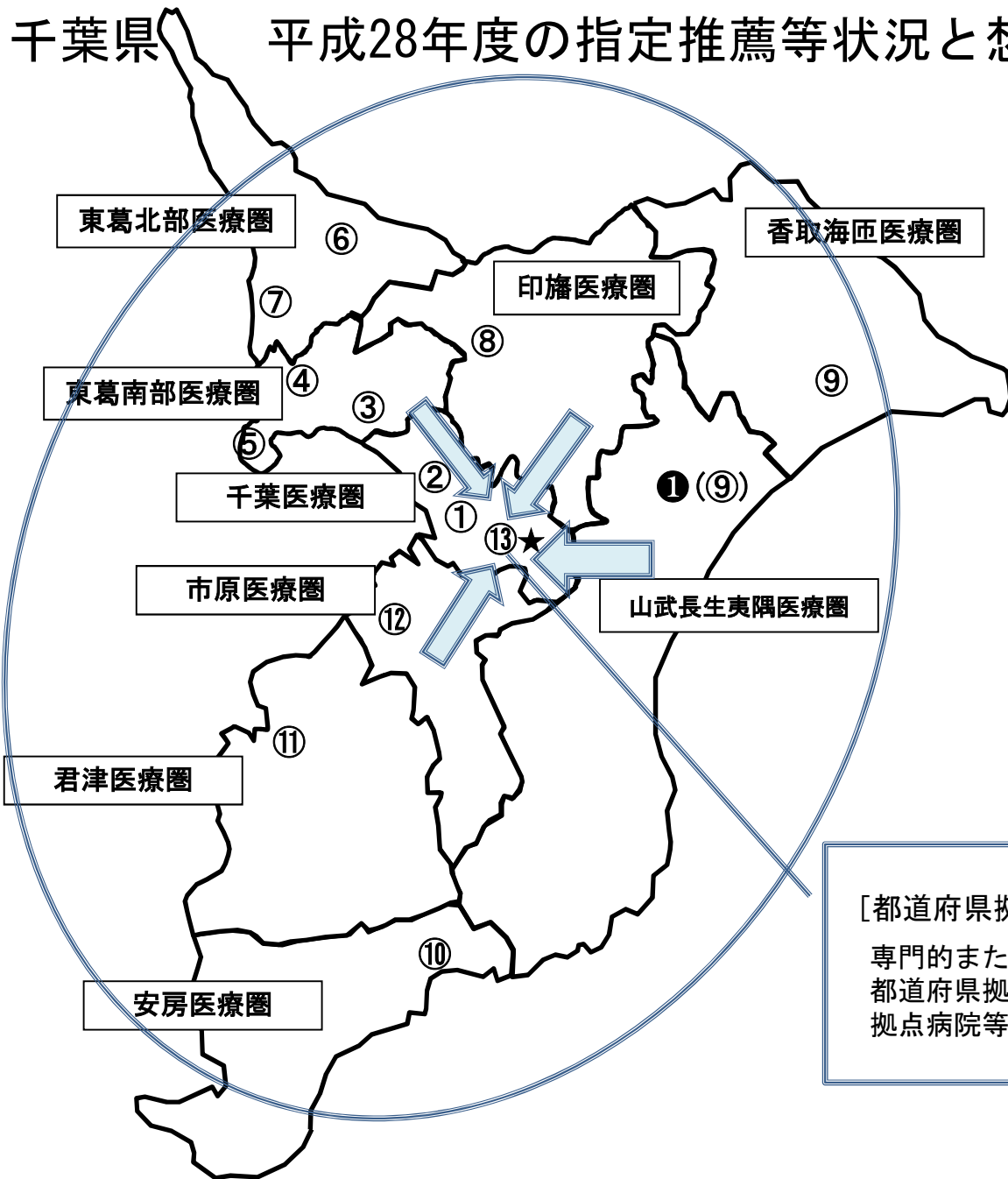
都道府県 or 地域 or 特定	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録 年間 500件 以上	悪性腫瘍の手術件数 (年間) 400件 以上	手術件数(臓器別手術件数は4ヶ月分)													がんに係る化学療法 のべ患者数 (年間) 1000人以上	放射線治療 のべ患者数 (年間) 200人以上	診療の割合 当該2次医療圏に居るがん患者の診療の割合 2割程度	緩和ケア チームに対する新規診療依頼数 (1ヶ月分)	がん相談支援センター 相談件数 (2ヶ月分)
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)			肺がん		胃がん手術			大腸がん手術			肝臓がん			乳がん						
							開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ESD+EMR ※1	開腹手術	腹腔鏡手術	内視鏡手術	開腹手術	腹腔鏡手術	ラジオ波焼灼療法		乳癌手術					
8	現況	日医北総病院	(2,314) 2,220	(17.6) 16.8	(1,177) 1,156	(642) 758	(4) 3	(20) 11	(14) 13	(9) 7	(20) 14	(12) 1	(43) 47	(132) 48	(8) 5	(0) 4	(3) 1	(26) 34	(1,339) 1,132	(236) 224	(18) 19	(14) 19	(213) 329	
9	現況	旭中央病院	(3,500) 4,190	(18.6) 20.5	(1,930) 1,968	(1,365) 1,594	(18) 33	(6) 2	(31) 31	(8) 5	(40) 45	(52) 27	(20) 22	(35) 37	(4) 22	(0) 0	(9) 12	(34) 39	(1,848) 1,811	(432) 488	(40) 48	(8) 6	(119) 762	
10	現況	亀田総合病院	(4,942) 5,484	(23.7) 26.1	(2,253) 2,391	(2,103) 2,351	(19) 17	(25) 25	(27) 24	(7) 7	(46) 53	(9) 3	(55) 37	(36) 34	(7) 0	(3) 4	(10) 14	(166) 176	(6,024) 7,122	(661) 746	(52) 49	(24) 38	(600) 450	
11	現況	君津中央病院	(2,850) 2,546	(19.6) 17.4	(1,333) 1,104	(857) 539	(3) 1	(15) 18	(14) 16	(0) 2	(24) 25	(40) 34	(3) 16	(8) 9	(7) 4	(0) 0	(6) 12	(22) 27	(722) 702	(238) 208	(45) 68	(2) 3	(160) 226	
12	現況	千葉労災病院	(2,674) 3,069	(24.9) 27.7	(966) 1,180	(682) 718	(0) 1	(33) 25	(16) 19	(2) 1	(24) 18	(5) 2	(34) 40	(7) 5	(5) 16	(0) 0	(0) 2	(38) 36	(1,968) 2,104	(211) 196	(39) 37	(14) 10	(140) 182	
13	★ 新規	千葉県がんセンター	6,810	91.4	3,076	2,153	4	31	14	19	60	17	25	53	2	0	1	81	3,258	738	18	40	452	

地域がん診療病院

- ・ 上段は平成27年10月末日提出の数値、下段は平成28年10月末日提出の数値
- ・ 申請区分は資料4の作成要領を参照のこと

	申請区分	病院名	年間入院患者数の状況		院内がん登録	手術件数	がんに係る化学療法	放射線治療 (実施していれば)	診療の割合	緩和ケア	がん相談支援センター
			年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	院内がん登録数(年間)	悪性腫瘍手術総数(年間)	のべ患者実数(年間)	のべ患者数(年間)	当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合(%)	緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(1ヶ月分)	がん相談支援センター相談件数(2ヶ月分)
①	現況	さんむ医療センター	(408) 654	(14.5) 22.6	(0) 159	(76) 65	(417) 542	実施なし	(16) 27	(1) 0	(43) 45

千葉県 平成28年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



- ①千葉大学医学部附属病院 (現況)
- ②(独)国立病院機構 千葉医療センター (現況)
- ③船橋市立医療センター (現況)
- ④東京歯科大学市川総合病院 (現況)
- ⑤(学)順天堂 順天堂大学医学部附属浦安病院 (現況)
- ⑥東京慈恵会医科大学附属 柏病院 (現況)
- ⑦国保松戸市立病院 (現況)
- ⑧(学)日本医科大学 日本医科大学千葉北総病院 (現況)
- ⑨総合病院国保旭中央病院 (現況)
- ⑩亀田総合病院 (現況)
- ⑪国保直営総合病院 君津中央病院 (現況)
- ⑫(独)労働者健康安全機構 千葉労災病院 (現況)
- ⑬千葉県がんセンター★ (新規)
- さんむ医療センター (現況)

[都道府県拠点病院の新設] ⑬千葉県がんセンター★
 専門的または高度ながん医療を必要とする全県の患者を、
 都道府県拠点病院が中心となり、
 拠点病院等と協力してフォローする体制を整備できる

今回の指定推薦等に係る千葉県の考え方

1 千葉県のがんの状況

- 昭和57年以来がんは死亡順位の第1位
- 急速に進む人口の高齢化
ー平成22年から15年間で
全国第3位のスピードで高齢化ー

今後さらになん患者が増加
↓
がん対策への取組は重要課題

2 がん診療連携拠点病院等の整備

【基本方針】

県民の誰もが、自らが選択し、安心して
納得した質の高いがん医療を、身近な地域
で受けられるように整備を進める。

二次医療圏に1か所を基本に、
一定人口規模（概ね人口50万人
程度）単位に地域がん診療連携
拠点病院を整備し機能的役割分担

- 【現状】・県内9つの二次医療圏のうち、8医療圏に12の地域がん診療連携拠点病院が、
1医療圏に地域がん診療病院がある。
- ・平成27年4月以降、がん診療の質の向上及びがん診療連携協力体制の構築等に中心的な役割を担う『都道府県がん診療連携拠点病院』の不在の状態が続いている。

【今回】県全体のがん医療の効果的かつ安定的な推進のためには、
『都道府県がん診療連携拠点病院』の早期整備が不可欠。

今回推薦を行う病院：千葉県がんセンター（都道府県がん診療連携拠点病院）

H26. 4
腹腔鏡下手術による
死亡事例の問題化

H27. 4
ガバナンス不十分
により指定不更新

H26. 11～
改革本部を設置し、
ガバナンス強化等の改革を実行

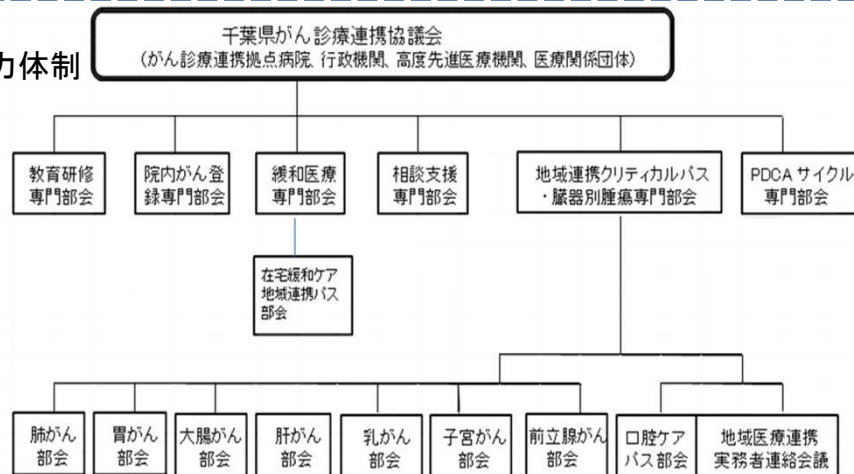
H27. 12 検体取り違え事故
H28. 2 ガーゼ遺残事故

H28. 4～
特定機能病院に
と同水準の体制に強化

【推薦理由】

- 県で唯一指定要件を充足
- 高度ながん診療機能と実績
 - … 拠点病院からの紹介患者数 H27年度1,119件、
県内全域のがん患者を受入等
- 患者支援と併せてがん研究も推進
 - … 臨床研究総合センター・がんゲノムセンター等
- 県全体の診療連携協力体制に大きな役割を果たす
- 医療安全体制、ガバナンスの強化

千葉県の 診療連携協力体制



ガバナンス強化の取組

○事案の検証

- ・「千葉県がんセンター腹腔鏡下手術に係る第三者検証委員会」の設置（H26. 6～H28. 3、計11回開催）
- ・報告書の公表（H27. 7）

○がんセンター改革本部の設置・改革の実行

<主な取組>

- 1) 組織ガバナンスの確保
 - … 医療安全管理委員会の権限強化（H27. 7）
- 2) 医療安全向上のための体制強化
 - … 新技術の導入実施プロセスの改善（H27. 7）
- 3) 患者の権利保障の強化
 - … インフォームドコンセント委員会の設置（H27. 3）
 - ・セカンドオピニオンセンターの新設（H27. 8）

○特定機能病院と同水準の体制整備

<主な取組>

- 1) 医療安全管理組織の強化
 - … 医療安全管理責任者として副病院長を指定（H28. 4）
 - ・医療安全管理室へ常勤医師・薬剤師の配置による体制強化（H28. 4）
- 2) 各部門における医療安全の取組強化
 - … 各部門のリスクマネージャーの増員（H28. 5）
- 3) 医療安全監査委員会の設置
 - … 外部委員7名による監査（H28. 10）→報告書（H28. 12）
- 4) 医療安全に関する内部通報窓口の設置（H28年度中予定）

▶ 千葉県がんセンターの都道府県がん診療連携拠点病院指定により、今後求められるがん医療の推進に、安定した体制のもと、より一層効果的に取り組むことが可能

がん診療連携拠点病院等推薦意見書【千葉県】

1 千葉県の現状

千葉県は、平成22年から37年までの65歳以上人口の増加率は全国第3位、75歳以上人口の増加率は第2位のスピードで増加することが見込まれています。

本県の悪性新生物（がん）による死亡者数は、昭和57年以来死亡順位の第1位であり、平成27年のがん死亡者数は16,431人と、全死亡者数の約3割を占めています。

急速な高齢化が進行している本県では、今後さらにがん患者が増加していくと見込まれ、がん対策の取組は重要な課題となっています。

2 千葉県のがん医療提供体制

(1) がん診療連携拠点病院等の位置付け

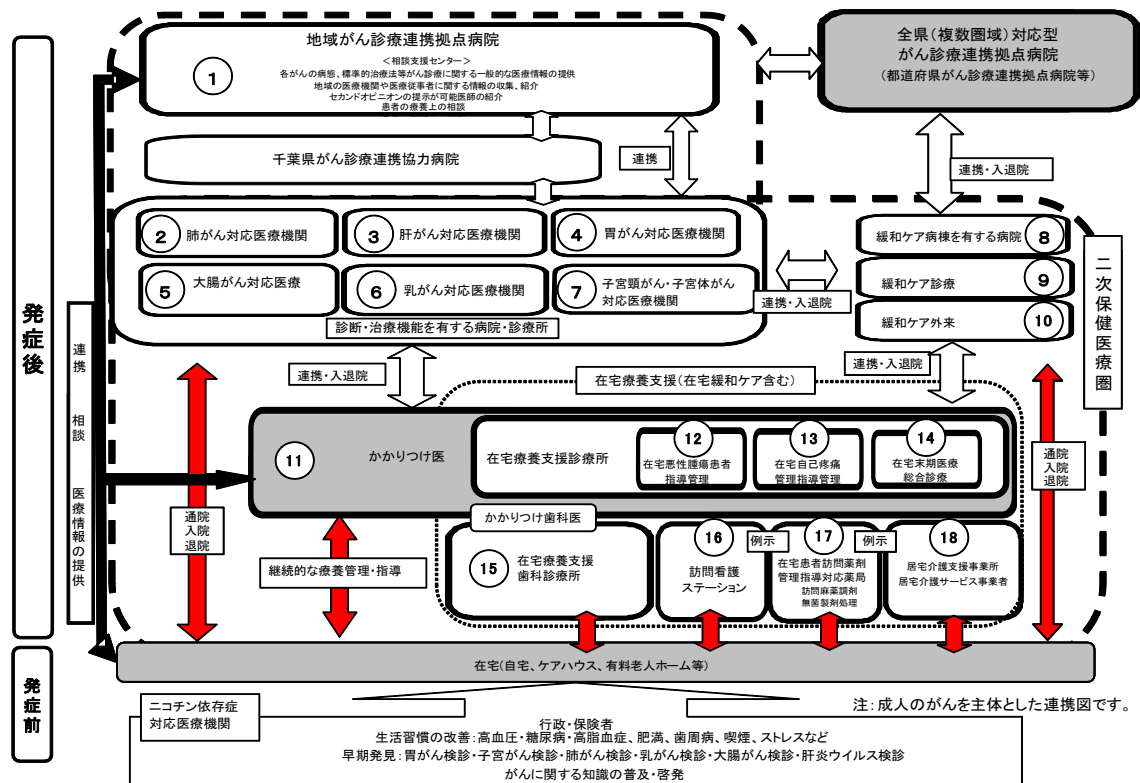
「千葉県保健医療計画」では、「循環型地域医療連携システム」構築のため、がん医療分野の中核的機関としてがん診療連携拠点病院等を位置付けております。

全ての県民に質の高いがん医療へのアクセスを確保するため、平成20年度策定の「千葉県がん対策推進計画」より、二次医療圏に1ヵ所を基本に、一定人口規模（概ね人口50万人程度）を単位に、がん診療連携拠点病院等を設置することを基本方針とし、がん診療連携拠点病院等の整備を進めてきました。

併せて、本県独自の取組としては、都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受けていた千葉県がんセンター、特定機能病院である千葉大学医学部附属病院、高度先進的ながん医療を提供する国立がん研究センター東病院と放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院の4病院を、「全県（複数圏域）対応型がん診療連携拠点」として、また、がん診療連携拠点病院等を補完する医療機関を「千葉県がん診療連携協力病院」として位置付け、ネットワークの構築及びがん医療水準の向上・均てん化に取り組んでいます。

【がんの循環型地域医療連携システム】

がんの循環型地域医療連携システムのイメージ図



(2) がん診療連携拠点病院等の整備状況

現在、千葉県内の9つの二次医療圏のうち、8医療圏に13の地域がん診療連携拠点病院、1医療圏に地域がん診療病院があり、各病院は、地域のがん医療の拠点として、自ら専門的な医療を行うとともに、各部位のがん対応医療機関やかかりつけ医等との連携、医療従事者の研修、相談支援等の役割を担っています。

しかしながら、都道府県に1カ所設置され、中心的な役割を担うべき都道府県がん診療連携拠点病院が不在の状況です。

3 都道府県がん診療連携拠点病院の新規指定推薦について

本県で唯一都道府県がん診療連携拠点病院の要件を充足し、かつ、がん医療の連携協力体制の構築に中心的役割を果たしている千葉県がんセンターを、都道府県がん診療連携拠点病院として推薦します。

(1) 千葉県がんセンターの特徴

ア 診療機能

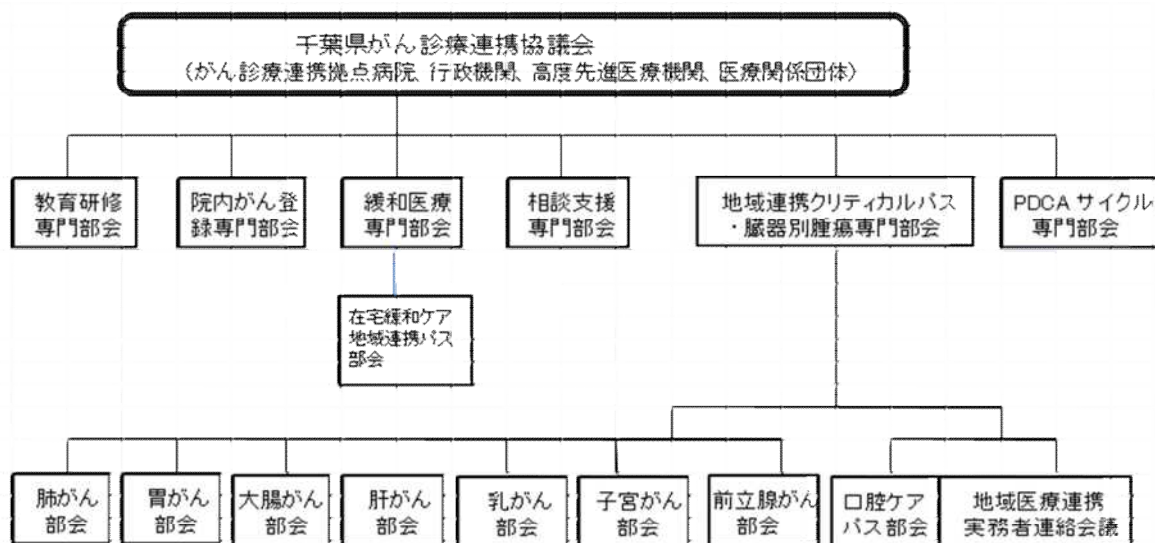
- ・千葉県がんセンターは、がん専門病院としてがん診療に特化しており、高度な

医療設備と25の診療科を有し、ICD分類で61種類という多くのがん種に対応し集学的治療を提供しています。

- ・ 県内全医療圏から患者を受け入れており、特に我が国に多いがん以外のがん等について、広域のがん診療を担っています。さらに専門的または高度ながん診療について、県内の地域がん診療連携拠点病院から多くの紹介患者を受け入れています（平成27年度1,119件）。
- ・ 緩和ケアセンターにおいて緩和ケアを提供するとともに、訪問診療・看護等の地域の医療従事者を支援し、終末期がん患者の在宅療養支援に精力的に取り組んでいます。
- ・ さらに、臨床研究総合センターやがんゲノムセンター等では、患者支援と併せてがん研究も推進しています。

イ 連携協力体制の構築の中心的存在

- ・ 本県は、がん診療連携協議会の下に、PDCAサイクル専門部会等の6つの専門部会を設置し、病院間・分野間での連携強化により、県全体のがん診療連携の推進及びがん診療の質向上を図っています。この協議会等の事務局及び都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会との連絡施設の役割を、現在も継続して千葉県がんセンターが担っております。
- ・ また、地域連携にも力を入れており、地域連携クリティカルパス37種類を整備するとともに、地域の医療機関に対する運用支援を行うことで、患者が地域で安心してがん診療を継続することができるよう支援しています。



(2) 千葉県がんセンターにおけるガバナンスの強化について

ア これまでの取組

千葉県がんセンターは、医療事故の発生とそれを受けた都道府県拠点病院の指定不更新を重く受け止め、ガバナンスの強化に向けた取組を進めてまいりました。具体的な取組は、大きく次の2つです。

① がんセンター改革本部の設置・改革の実行

平成26年度に行われた「腹腔鏡下手術に係る第三者検証委員会」の指摘と提言を受け、平成26年11月に「千葉県がんセンター改革本部」を設置し、医療安全管理、倫理審査、インフォームドコンセント等にかかる、体制やルールの見直しを行いました。

<主な取組>

- 1) 組織ガバナンスの確保 … 医療安全管理委員会の権限強化
- 2) 医療安全向上のための体制強化
 - …・未実証医療審査委員会を新設し新技術の導入実施体制を整備
 - ・倫理教育担当者の配置
- 3) 患者の権利保障の強化
 - …・インフォームドコンセント委員会の設置
 - ・セカンドオピニオンセンターの新設

② 特定機能病院に準じた体制の整備

しかしながら、その後の病理検体取り違い事故やガーゼ遺残事故等の相次ぐ発生を受け、より一層の体制の改革・整備を進めることが不可欠との考えから、平成28年4月より特定機能病院における医療安全対策等のガバナンスの強化に準じた体制の整備を進めてきました。

<主な取組>

- 1) 医療安全管理組織の強化
 - …・医療安全管理責任者として副病院長を指定
 - ・医療安全管理室の職種・人数の増員による体制強化
(専従の医師及び薬剤師を新たに配置、専従の看護師を3名に増員)
- 2) 各部門における医療安全の取組強化
 - …・各部門に、医療安全確保に必要な知識を有するリスクマネージャーの増員
 - ・部門ごとの自己点検と結果に基づく改善活動の実施

イ 今後の展望

さらに、千葉県では、千葉県がんセンターにおける内部統制の強化だけではなく、外部からの評価を受ける仕組みも必要と考え、平成28年8月に外部有識者による医療安全監査委員会を病院局に設置しました。千葉県がんセンターの監査結果は平成28年12月にとりまとめ予定です。

また、病院局に医療安全に関する内部通報窓口の設置準備も併せて進めており、適正な組織運営と透明性の確保に向け、さらなる取組を進めていく予定です。

千葉県病院局医療安全監査委員会による がんセンター監査結果(概要)

1 監査日時、方法等

- ・平成28年10月27日(木)
- ・監査委員会委員6名による現地調査
- ・平成28年12月13日の第2回医療安全監査委員会で結果取りまとめ・公表

2 監査の視点

- ①特定機能病院と同水準の医療安全管理体制が整備されているか。
- ②これまでの医療事故を踏まえた改善策が適切に実施されているか。

3 監査項目(大項目)

- ①医療安全管理体制の確立(ガバナンスの確保)
- ②医療安全管理活動
- ③患者の権利保障の取組
- ④高難度新規医療技術導入のプロセス
- ⑤再発防止への取組

4 監査結果(概要)

- 特定機能病院と同水準の医療安全管理体制の確保については、概ね、期待された水準に達している。
- これまでの医療事故を踏まえた各種改善策や再発防止策について、概ね、適切に実施されているものと考えられた。
- 全体として、医療安全上、多くの点について改善されているものと認められた。

千葉県病院局医療安全監査委員会による がんセンター監査結果(概要)

【評価についての詳細】

①医療安全管理体制の確立(ガバナンスの確保)

- ・医療安全管理室に臨床工学技士を専従として配置しているのは、進んだ取り組みであると評価できる。
- ・医療安全管理指針の中で、必要があれば医療安全管理委員会が委員長に対して治療の中止勧告が出せる旨が明記されていることは評価できる。

※事務部門にリスクマネジャーを配置されたい。

②医療安全管理活動

- ・医療安全管理室が医療安全に関するミーティングを毎日2回開催するなど、積極的な活動が認められ、高く評価できる。

※マニュアルについて、職種間の情報共有が不十分な部署があった。

③患者の権利保障の取組

- ・インフォームドコンセント(IC)の適切な実施について、IC監査部会において多職種の委員により定期的に検証されていることは、ICの実効性を保つ上で評価できる。

④高難度新規医療技術導入のプロセス

- ・高難度新規医療技術の導入に関しては、適切に管理されている。

⑤再発防止への取組

- ・腹腔鏡下手術に関し、カンファレンスにおいて院内共通のテンプレートを作成し、もれなく検討事項を確認する取り組みは、他施設でも参考になる取り組みであると評価できる。

※新たに作成した手順の詳細について、マニュアルに整理されていない部分があった。

※改善の指摘を受けた部分については、既に改善済みである。

特定機能病院に求められる医療安全管理体制と 千葉県がんセンターの対応状況

医療法施行規則第9条の23第1項に定められた 主な要件		千葉県がんセンターの対応状況	対応 年月
一	医療安全管理責任者の配置	副病院長を指名	H28/4
二	専任の院内感染対策を行う者を配置	医師(専任)、看護師(専従)を配置	H19/4
三	医薬品安全管理責任者に医薬品に関する情報の整理・周知、 未承認薬の使用状況把握等を行わせる	医薬品安全管理責任者が未承認薬、適応外、禁忌等の処方に 係る確認及び必要な指導を実施	H28/4
四	説明(I.C.)に関する責任者の配置等	病院長を委員長とするIC委員会を設置し、実施状況を確認	H27/4
五	診療録の管理責任者による診療記録記載の確認	診療記録管理規程を定め、診療情報管理室長が診療記録記 載を確認	H23/10
六	医療安全管理部門に専従の医師、薬剤師、看護師を配置	看護師(H19/4から専従)に加え、医師、薬剤師を専従配置	H28/4
七	高難度新規医療技術提供の適否等を決定する部門の設置、 順守すべき規定の作成等	倫理審査委員会(H6/9)または未実証医療審査委員会(H27/7) で対応	H27/7
八	未承認新規医薬品等使用の適否等を決定する部門の設置、 順守すべき規定の作成等	倫理審査委員会(H6/9)または未実証医療審査委員会(H27/7) で対応	H27/7
九	監査委員会の設置、監査の実施と結果の公表	千葉県病院局に医療安全監査委員会を設置し(H28/8)、監査 結果を公表	H28/12
十	医療安全管理のための全死亡症例報告と医療安全管理委員 会による報告状況の確認	全死亡症例報告を義務化し(H27/11)、医療安全管理委員会 が報告状況を確認	H28/5
十一	特定機能病院間の相互立ち入り	特定機能病院でないため該当なし	—
十二	患者からの医療安全管理に係る相談への対応体制	医療安全管理室を設置し、専従の医療安全管理者が患者から の相談に対応	H19/4
十三	医療安全に関する内部通報窓口の設置	千葉県病院局に設置予定	H28年度中
十四	医療安全に関する職員研修の実施	全職員対象研修の年2回実施に加え、TeamSTEPPS研修を導 入	H28/11
十五	医療安全管理責任者、管理者等の医療安全研修の受講	医療安全管理責任者(H28/5)、病院長(H27/11)が医療安全 研修を受講	H28/5
十六	医療事故発生時に発生日から2週間以内に事故報告書を作 成	千葉県病院局医療安全管理指針に基づき、医療事故報告書を 速やかに作成	H21/4

がん診療連携拠点病院等の指定の考え方

1. 指定要件について

指定に当たっては、原則、「がん診療連携拠点病院等の整備について」（平成26年1月10日付け健発0110第7号厚生労働省健康局長通知）（以下「指針」という。）に定める要件を充足していることとする。

2. 2次医療圏とがん診療連携拠点病院、特定領域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院の考え方について

指針において、「都道府県拠点病院にあっては、都道府県に1カ所、地域拠点病院にあっては、2次医療圏（都道府県拠点病院が整備されている2次医療圏を除く。）に1カ所、地域がん診療病院にあっては基本的に隣接する2次医療圏のがん診療連携拠点病院との連携を前提にグループとして指定（以下「グループ指定」という。）することにより、がん診療連携拠点病院の無い2次医療圏に1カ所整備するものとする。また、特定のがんについて、当該都道府県内の最も多くの患者を診療する特定領域拠点病院を整備するものとする。ただし、当該都道府県におけるがん診療の質の向上及びがん診療の連携協力体制の整備がより一層図られることが明確である場合には、この限りでないものとする。」と定められている。

(1) がん診療連携拠点病院について

a) ただし書きについては、これまでの検討会を踏まえると、以下のような場合が考えられる。

- 当該病院を指定することによって、当該医療圏や都道府県のがん診療体制に期待される相乗効果が、都道府県の推薦意見書に数値目標などを用い記載されていること。
- 多くのがん患者を診ていることや当該2次医療圏の人口が多いということだけでなく、がん患者の通院圏域、拠点病院間の役割分担、多くのがん患者が他の2次医療圏より流入するなど隣接する医療圏との関係等について、都道府県より十分な説明があること。

b) 診療実績がない場合の考え方について

- 指針において、「我が国に多いがん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。以下同じ。）及びその他各医療機関が専門とするがんについて、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケア（以下「集学的治療等」という。）を提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療（以下「標準的治療」という。）等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供すること。」と定められている。
- 「集学的治療及び緩和ケアを提供する体制」については、これまで肺がん等で報告期間において診療実績（特に手術）がなくとも、当該医療圏の状況等を勘案し指定された病院はある。

(2) 特定領域がん診療連携拠点病院について

指針に基づく新設の病院。原則、がん診療連携拠点病院の要件を満たすことが求められる（がんの種類に応じて必要な治療法が異なる可能性があるため、指定にあたっては地域がん診療連携拠点病院の要件のうち満たしていない項目がある場合には、個別に指定の可否を検討する。）。

特定のがんについて当該都道府県内で最も多くの患者を診療していることについて、具体的な数値を用いつつ説明が求められる。

(3) 地域がん診療病院について

指針に基づく新設の病院。地域がん診療病院は、がん診療連携拠点病院のない2次医療圏に、がん診療連携拠点病院とのグループ指定により原則1箇所整備することとしている。当該病院を指定することによる当該医療圏や都道府県のがん診療提供体制に期待される相乗効果や、グループとなるがん診療連携拠点病院との連携内容について、説明が求められる。